

| 項目          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)  |
|-------------|---|-------------------|--|
| . 理念に基づく運営  |   |                   |  |
| 1. 理念と共有    |   |                   |  |
| 1           | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>            |                   | <p>その人らしい生活ができるよう、家庭的な雰囲気の中でその方の持っている力を最大限に引き出せるよう取り組んでいる。</p> <p>本人の意思や家族の希望を取り入れ個人にあった日々の生活を支援して行えるよう努める。</p>  |
| 2           | <p>理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>                               |                   | <p>日々の申し送りや、カンファレンスの中で個人のケアについて話し合っている。</p> <p>その人らしい生活が、住み慣れた地域でできるように考えて取り組んでいきたい。</p>   |
| 3           | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>      |                   | <p>家族への手紙やホーム便りを発行したり、運営推進会議や勉強会の際に日常の様子や行事等の話をしている。</p> <p>地域の人に認知症の理解を深めてもらえるよう行事や勉強会への参加をよびかけ、グループホームへの理解と協力を求めていく。</p>   |
| 2. 地域との支えあい |   |                   |  |
| 4           | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>       |                   | <p>勉強会への参加や老人クラブでの作品を持ち込んだりして下さる。又、グループホーム周囲の草刈を近所の方が手伝って下さったり、日常的なつきあいがある。</p> <p>今後も近所の方と挨拶をしたり、元気であるかどうかの気づかいが出来るよう心がけていきたい。</p>                                      |
| 5           | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>        |                   | <p>町内会のお祭りや、盆踊りなどに参加したり、近隣の小学校PTAと連絡をとり「子ども110番」に加盟している又ホーム内の勉強会など町内に案内をしている。</p> <p>町内の行事はいよいよ社も喜ばれるので、これからも積極的に参加していきたい。又老人クラブへの参加も利用者とともに試み、地域の方との関わりを継続して持ち続けたい。</p> |
| 6           | <p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> |                   | <p>運営推進会議や勉強会を通じて、地域高齢者や家族が役にたてるような、情報の場として取り組み、いつでも相談できるように心がけている。</p> <p>気軽に地域の高齢者又は家族が聞きたいことや相談したいことを持ち込みやすい関係づくりに努めたい。</p>   |

| 項目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)   |
|-----------------------|--|---|---|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |  |   |   |
| 7                     | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>                         | <p>評価を行う事の意義を理解し、振り返りの方法として評価項目に従って点検し、サービスの質の向上に役立てることが大切だということを職員が理解している。</p> | <p>外部からの視点やきずきの大切さを十分に理解し、今まで行ってきた事を再確認し、今後に生かしていけるよう取り組んで行く。</p>     |
| 8                     | <p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>         | <p>評価への取り組み状況を、運営推進会議で率直に伝え、伝えることを通して再認識し、サービスの向上に努めている。</p>                    | <p>今後も、運営推進会議で、グループホームの日常を伝えていき、そこから意見をもらい、今後のサービス向上につなげて生きたい。</p>    |
| 9                     | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>                           | <p>必要に応じ、市町村担当者行き来する機会を作り取り組んでいる。</p>   | <p>職員の研修会に参加し、サービスの質の向上に努めている。</p>                                    |
| 10                    | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | <p>勉強会や運営推進会議で、学ぶ機会を持つと共に、地域権利擁護を使用している家族もいる。</p>                               | <p>必要な人には制度が活用できるように職員が学び、必要な人には制度をつないで行けるよう努めたい。</p>                 |
| 11                    | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>             | <p>地域包括支援センターの職員を講師に招き、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会おもち、職員の意識を高めている。</p>                   | <p>定期的に、高齢者虐待防止法について学ぶ機会をつくっていききたい。</p>                               |
| 4. 理念を実践するための体制       |  |   |   |
| 12                    | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>                            | <p>利用者や家族と直接話し合う機会を設け、十分に話し合いをもち、不安や疑問の解決に努め、理解を得ている。</p>                       | <p>今後も家族や利用者と、十分に話し合いを行い、不安や疑問が軽減・解決できるよう情報提供し、理解を得られるよう努めていききたい。</p> |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                             |
|--|---|-------------------|---|
| <p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>                                 | <p>玄関に意見箱を設置し、意見を自由に投函できるようにしている。</p>   |                   | <p>意見箱の設置と合わせ、アンケートなどを使用して、意見が聞けるよう検討し、運営に反映していきたい。</p>   |
| <p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>                              | <p>体調不良および、受診を行った時には、その都度電話にて、結果を報告している。また、面会時や手紙などにて、日常の様子や、健康状態を伝えている。</p>    |                   | <p>面会時のみでなく、遠方の家族には、手紙で伝えることにより、喜ばれているため、今後も継続していきたい。</p> |
| <p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>                                | <p>重要事項証明書に苦情・相談窓口について明記し、入所時に説明している。また、玄関に意見箱を設置している。</p>                      |                   | <p>家族からの意見・不満・苦情があったときは、早急に対応し、運営に反映させていきたい。</p>          |
| <p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>  | <p>意見や提案は、会議にて検討し意見交換を行い、調整に努めたい。</p>   |                   | <p>継続して行っていけるよう努めたい。</p>                                  |
| <p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>                       | <p>利用者の受診や行事など、それに対応した職員の人数を配置できるよう、職員と勤務時間の調整を話し合いながら決め、柔軟な対応ができるよう心がけている。</p> |                   | <p>継続して行っていけるよう努めたい。</p>                                  |
| <p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | <p>利用者の状態や職員の人数などに応じて、ローテーションを行う場合は、必要最低限に抑えられるよう考え、利用者に影響が少ないように配慮している。</p>    |                   | <p>継続して行っていけるよう努めたい。</p>                                  |

| 項目                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                  |
|---------------------------|---|---|--|
| 5. 人材の育成と支援               |   |   |  |
| 19                        | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>          | 積極的に研修を受講するよう観めている。希望があれば勤務変更し、受講しやすいよう配慮している。受講後は報告書にまとめ、勉強会にて、伝達・研修をしている。                 | 職員の経験に応じて、勉強会・研修参加を積極的に行きたい。                                   |
| 20                        | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | 以前は、他法人との交流・勉強会行っていたが、今年度は同法人のグループホーム内での勉強会を開催している。   | 他のグループホームとの勉強会や事例発表を一緒に開催し、交流をはかると共にケアの情報交換ができるよう努めていきたい。      |
| 21                        | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>                                   | 親睦会が持たれ、新・忘年会や歓迎会を開催し、他のグループホームの職員と交流を持ち、悩みや思いを話しストレスが軽減できるように取り組んでいる。                      | 定期的を開催することで、互いの悩みや思いを共有出来る機会にし、より良いチームワークを築くことができるよう取り組んでいきたい。 |
| 22                        | <p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>                       | 研修や講習の開催情報を伝え、学ぶことの大切さを個々人が感じとれるよう、研修や講習参加を進め、各自が向上心をもてるように努めている。                           | 継続して行っていけるよう努めたい。  |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援       |   |   |  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |   |   |  |
| 23                        | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。</p>             | 入所前に自宅や入院先や施設などに訪問し、本人と直接会い、話し合いを十分行い、不安が少しでも軽減できるように情報交換を行っている。また、グループホームの見学や体験入所もおこなっている。 | 継続して行っていけるよう努めたい。  |
| 24                        | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受け止める努力をしている。</p>                  | 利用者や家族が困っていることや、不安なことにも十分に受け止めるよう努めている。   | 継続して行っていけるよう努めたい。  |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                 |
|---|--|-------------------|---|
| 25<br>初期対応の見極めと支援<br>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。                               | 利用者にとって、どんな支援が必要なのかを、情報や利用者・家族との話し合いから、利用者の状態を見極め、その人にあったサービス利用が出来るよう対応に勤めている。             |                   | 利用者及び家族との話から、情報交換を行い、その人に合ったサービスを話し合いながら見つけ、提供し対応をしていきたい。     |
| 26<br>馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 入所前に、管理者と一緒に訪問したり、グループホームへの見学や、体験入所を行ったりしている。  |                   | 事前に訪問することで、顔なじみの関係を築き、入所後も落ち着いて過ごすことが出来るように、利用者の不安軽減に努めていきたい。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援   |  |                   |   |
| 27<br>本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。                        | 生活を共に送りながら、一方的な関わりとならないよう、利用者の言葉や表現・精神面などにも気を配り、共に共感したり利用者から学ぶ機会や活躍できる場面を作っている。            |                   | 職員が利用者から、今までの人生経験や体験などを教えてもらい、学べる機会を作り、活躍できるよう努めていきたい。        |
| 28<br>本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。                                  | 家族からも昔の話を聞き、本人や家族の歩んできた人生を知りながら支えていけるように努めている。   |                   | 家族の苦労や悩みを聞き、理解する機会をつくり、家族も含め、ともに利用者を支えていける関係をこれからも継続していきたい。   |
| 29<br>本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。                                      | 面会や外出・外泊に特に取り決めはなく、自由に好きなときに、家族との時間を過ごしている。以前、住んでいた場所に帰省したり、一緒に家族と共有できる時間や、思いを作れるように努めている。 |                   | 必要に応じ、車椅子の貸し出しを行い、出来る限り支援をしながら、利用者や家族の希望にあわせた関係づくりに努めている。     |
| 30<br>馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。  | 以前の仕事の同僚や、以前近所に住んでいた知人などの来所がある。以前、住んでいた地域に出掛け、懐かしむ時間をつくっている。                               | ○                 | 馴染みの人や馴染みの場所を大切に繋がりや保てるように努めていきたい。                            |

| 項目                             |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                    | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)   |
|--------------------------------|---|--|-------------------|---|
| 31                             | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。   | 体調の優れない利用者を気づかたり利用者同士、お互いに助けあう場面がみられている。                           |                   | 一緒に生活している馴染みの関係を大切にし、職員は介護を行うだけでなく、関係の繋ぎ役としての関わりを行っていきたい。                         |
| 32                             | 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。                                    | 来所時、又は電話での対応時には相談に応じる姿勢を保ち、話しやすい雰囲気作りに努めている。                       |                   | 利用者や家族の希望に応じ、気軽に相談できる姿勢を保ち続けていきたい。  |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント     |   |  |                   |   |
| 1. 一人ひとりの把握                    |   |  |                   |   |
| 33                             | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。  | 日常の会話・行動から一人ひとりの思いを把握できるようにしている。ケアプランの説明時にその都度、希望や要望を話せる機会をつくっている。 |                   | ふと思う疑問もこちらから積極的に伺うように心がけている。  |
| 34                             | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。  | 家族又は本人からの聞き取りをおこない、馴染んだ暮らし方に近づけるよう配慮を行っている。                        |                   | 集めた情報と、日々の関わりの中から、一人ひとりに合った生活を過ごせるよう支援していきたい。                                     |
| 35                             | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。  | 個々人の現状に合わせた過ごし方を総合的に把握できるよう、情報を共有し無理なくすすめていく。                      |                   | 日々、新聞に目を通す・好きなテレビ番組をみるなど、自宅にいる時からの習慣を続けていくなかで、変化に気づき、状態の把握に努めていきたい。               |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |   |  |                   |   |
| 36                             | チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 家族の意向と本人の思いを取り入れつつ、本人の思いが言葉にできづらい場合は適切に代弁しつつ、計画を作成しケアに反映させている。     |                   | 家族の面会時にケアプランの説明を行っているが、遠方に住んでおり面会が難しい場合は郵送にて対応している。今後も継続し、意見をだしやすい雰囲気づくりに努めていきたい。 |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                           |
|---|---|-------------------|---|
| 37<br>現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 日々の様子や、身体・精神面などに変化が生じ、見直し以前に計画の変更が必要になった場合は、現状にあったプランに変えている。  |                   | 利用者の今の状態にみあったケアプランの作成に努めている。                            |
| 38<br>個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。   | 気づいたことや、日々の様子を記録し、カンファレンスにて見直しをしている。                          |                   | 常日頃の利用者の変化に気を配り、職員間で情報の共有を行い現状に見合ったケアプランの作成に努めていきたい。    |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援   |   |                   |   |
| 39<br>事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。   | 家族からの急な外泊や外出にも対応している。また、事前の連絡による外出などの支援もできるだけ要望に沿えるよう支援をしている。 |                   | 利用者や家族の状況を理解したうえで、その要望に応じて臨機応変に対応していきたい                 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働   |   |                   |   |
| 40<br>地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。  | 現在、地域支援との協力支援はないが本人の意向や必要性に応じて、検討をしていきたい。                     |                   | ボランティアの方との協力を考えている。                                     |
| 41<br>他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。   | 現在、地域の他のケアマネージャーとの話し合いはないが今後必要に応じサービスの検討を考えている。               |                   | 必要に応じサービスの検討を考えている。                                     |
| 42<br>地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。  | 現在は職員の制度理解をすすめている段階であり、必要な利用者・家族には地域包括支援センターとの連携ができるよう支援していく。 |                   | 3月には地域包括支援センターとの協力により成年後見任制度の講義を行い理解を深め、今後活用できるよう考えている。 |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)          |
|---|--|-------------------|--|
| 43<br>かかりつけ医の受診支援<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。   | 利用者により、入所前から通っている医院・病院へ受診している。又、相談できる医師・看護師がいる。                              |                   | 今後も、利用者にとってよりよい医療支援体制ができる受診体制を整えていきたい。 |
| 44<br>認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。  | 認知症の症状や治療などにより、認知症の専門医への受診・相談を行っている。   |                   | 今後も、継続して行っていく。                         |
| 45<br>看護職との協働<br>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。  | 看護職員はいないが、何かのときに電話にて気軽に相談できる看護師・医師あり、週に2回訪問にきている。                            |                   | 今後も、継続して行っていく行っていく。                    |
| 46<br>早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。                      | 家族の希望を聞き、入院先と情報交換を行い、利用者の状態把握に努め、早期退院が出来るよう入院中は、見舞いにいき病院との情報交換を行い、家族に報告している。 |                   | 今後も、継続して行っていく行っていく。                    |
| 47<br>重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。                                   | 本人や家族の意見や要望を聞き、かかりつけ医やクリニックと相談しながら、繰り返し話し合いを行い対応し、重度化になった。                   |                   | 今後も、継続して行っていく行っていく。                    |
| 48<br>重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | かかりつけ医との日々の連携を行っており、終末期いあたっては、本人・家族・医師・看護師・職員にて話し合いをもち検討し要望に沿えるよう努めている。      |                   | 他ユニットの事例等を学び、職員が学ぶ姿勢をつくっていく。           |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                         |
|--|---|-------------------|---|
| 49<br>住替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。 | 本人の意向を踏まえ、本人の日常生活の状況に即した情報提供を家族に行い、今後のニーズにあった生活を家族と検討し、別の居宅に移り住む際は、ケア関係者と情報交換を行い又調整していく。                              |                   | 今後も本人の意向を踏まえたくうで、ケア関係者と情報交換を行い生活が円滑に行えるよう調整を行っていく。    |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援<br>1. その人らしい暮らしの支援<br>(1) 一人ひとりの尊重   |   |                   |   |
| 50<br>プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。                                      | トイレ誘導時周囲に配慮しながら、さりげなく声かけや誘導を行っている又記録の個人情報取扱いにさいしても誇りやプライバシーを損ねる対応を行わず、人生の先輩として敬う姿勢をとっている。                             |                   | プライバシーに配慮した対応と取り扱いを今後も継続して行っていく。又、職員にも伝えていく。          |
| 51<br>利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。                 | 一人ひとりに合わせた、本人の意思が出やすいこえかけを行い、利用者が選べるような雰囲気づくりと場面にあった説明を行っている。   |                   | 話やすい声かけ、話しやすい場所、話しやすい人等、場面の設定を工夫し自分で決め、納得できる支援を行っていく。 |
| 52<br>日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。                       | 本人の意向を踏まえ、本人の日常生活の状況に即した情報提供を家族に行い、今後のニーズにあった生活を家族と検討し、別の居宅に移り住む際は、ケア関係者と情報交換を行い又調整していく。                              |                   | 利用者の意向に沿った生活ができるよう支援していくよう取り組んでいる。                    |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援  |   |                   |   |
| 53<br>身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。                                  | 利用者の一人ひとりに合わせて、近隣の美容室や、行きつけの美容室を利用できるよう支援している。また、希望により訪問美容を活用している。  |                   | 今後も、希望の美容室を利用できるように支援していけるよう取り組んでいきたい。                |
| 54<br>食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。                  | 献立メニューにより、一人ひとりの好みにより、盛り付け量を変えたり、他のものを付けたりして対応している。職員と利用者と共に、買物や調理・後片付けを行っている。食事中は一人ひとりの機能や状態に合わせて、声かけ・介助をさりげなく行っている。 |                   | 今後も、継続して行っていく。  |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                    |
|---|---|-------------------|--|
| 55<br>本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。            | 体調や病歴を踏まえ、その人にあった提供の仕方をしている。  |                   | 今後も、継続して行っていく。                                   |
| 56<br>気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。       | 排泄表チェック表を使用し、排泄パターンを作成すると共に、利用者のサインや表情などから、さりげなく誘導し介助している。              |                   | 今後も、継続して行っていく。                                   |
| 57<br>入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。   | 入浴日や入浴時間などは、利用者の希望時間に合わせ、毎日入浴できるよう支援している。                               |                   | 今後も継続して行っていく。                                    |
| 58<br>安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。                    | 利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握し、身体を動かす活動を増やし、生活のリズムをつくるよう支援している。                    |                   | 今後も継続して行っていく。                                    |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援   |   |                   |  |
| 59<br>役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 一人ひとりのできそうなことや、やりたい事を把握し、力が発揮できるよう支援を行い、尊敬の念や、感謝の言葉を忘れずに対応している。         |                   | 本人が生きていく意欲を引き出せる、きっかけづくりになる接し方に取り組んでいきたいと考えています。 |
| 60<br>お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 職員は、支払いの必要がある時に支払うことの機能を維持することの大切さを理解し、一人ひとりの支払い能力を把握し、個々人にあった介助を行っている。 |                   | 今後も継続して行っていく。                                    |

| 項目              |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                       |
|-----------------|---|--|-------------------|---|
| 61              | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。                            | 一人ひとりの希望にそった外出はできていないが、受診時・買物等を利用して要望をとりいれている。               |                   | 玄関前または近隣の公園から、戸外に出掛けれる機会をつくっていきたいと考えている。            |
| 62              | 普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが言ってみない普段はいけないうちに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。         | 日頃から要望を取り入れ、外出の機会をもてるよう、支援する取り組みを行っている。                      |                   | 今後も、普段行けない場所への外出の機会をもてるよう支援を行っていく。                  |
| 63              | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。                                   | 本人の希望に沿い、手紙のポスト投函又電話の取次ぎを行っている。                              |                   | 今後も、継続して行っていく。                                      |
| 64              | 家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。                   | 面会時間を、設けておらず、いつでも訪問できるよう環境づくりを行い居心地よくさせるよう場の提供を心がけている。       |                   | 今後も、継続して行っていく。                                      |
| (4) 安心と安全を支える支援 |   |  |                   |   |
| 65              | 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 配布された、資料を読み、スタッフが共通の認識をもち身体拘束をしないケアにとりくんでいる。                 |                   | 今後も「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し、ケアに取り組んでいく。 |
| 66              | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。                  | 自由に外との行き来ができるケアに取り組んでおり、鍵をかけることが利用者への心理面に与える影響を全ての職員が理解している。 |                   | 今後も、鍵をかけないケアにとりくんでいく。                               |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)         |
|---|---|-------------------|---------------------------------------|
| 67<br>利用者の安全確認<br>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。                 | 日中帯はいる場所に注意を払い、又夜間は巡回を行い、利用者の安否確認を行っている。                                      |                   | 見守ることの大切さを職員が認識し今後も継続して行っていく。         |
| 68<br>注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。         | 一人ひとりの状況に応じ、安全に使えるかどうかの判断をし、有する能力が維持できるように支援を行っていく。                           |                   | 今後も、一人ひとりの状況に応じ危険を防ぐ取り組みを行っていききたい。    |
| 69<br>事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。       | 一人ひとりの状態に応じ、日常生活から事故を防げるように色々な事を学ぶ取り組みを行っている。                                 |                   | 今後も継続して学んでいく。                         |
| 70<br>急変や自己発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。                | 緊急時対応の講習会を定期的に行い、参加者を募り利用者の急変や事故発生に備えるための初期対応を学んでいる。                          |                   | 今後も継続して学んでいく緊急時対応の講習会を開催し、学んでいく。      |
| 71<br>災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。  | 消火器や避難路の確保などの点検も定期的を実施し、利用者が避難できる方法を身につけている。講習時には、町内の人にも声をかけ地域とのつながりを大切にしている。 |                   | 今後も継続して行い、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけていく。 |
| 72<br>リスク対応に関する家族との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | 一人ひとりに合わせた生活を大切に、リスクをふまえたうえで日常的に暮らすことを大切にしたい対応策をとっている。                        |                   | 今後も継続して、家族への説明を行っていききたい。              |

| 項目                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                      |
|----------------------------|--|-------------------|--|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |  |                   |  |
| 73                         | <p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>      |                   | <p>日々の生活の中からもいつも違うことに気づき、対応に結びつくよう今後も取組んでいきたい。</p> |
| 74                         | <p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>  |                   | <p>今後も薬の目的を理解し、服薬の支援と症状の変化に努めていく。</p>              |
| 75                         | <p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>     |                   | <p>今後も便秘の予防に取り組んでいく。</p>                           |
| 76                         | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>              |                   | <p>自力で行える方は自力で行い、不十分な所を介助して行っていく。</p>              |
| 77                         | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> |                   | <p>今後も栄養摂取量や水分確保の記録を行い摂取量が少ない時には、支援を行っていく。</p>     |
| 78                         | <p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>        |                   | <p>今後も継続して行い、必要に応じ勉強会を開催していく。</p>                  |

| 項目                      |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)             |
|-------------------------|---|--|-------------------|---|
| 79                      | <p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>                                       | <p>毎食後、布巾・まな板の漂白をし、食前・食後には塩素を薄めたものでスプレーし、テーブルを拭いている。調理頻のつくりおきはせず、食事前に準備した調理品を提供することになっている。</p> |                   | <p>今後も継続して行っていく。</p>                      |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |   |  |                   |   |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |   |  |                   |   |
| 80                      | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>                             | <p>花壇やベンチを置き気軽に立ち寄れる工夫をし、雰囲気づくりに努めている。</p>   |                   | <p>今後も継続して行い、安心して出入りができる工夫をしていく。</p>      |
| 81                      | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>日差しが強い場合は、カーテンやすだれを使い、テレビを誰も見ていない場合はスイッチを消している。季節に応じた装飾品や写真を飾り、居心地よく暮らせる工夫をしている。</p>        |                   | <p>生活感や季節感をとりいれて、居心地よく暮らせる工夫を今後もしていく。</p> |
| 82                      | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>                             | <p>居間にはソファを置き、居間以外にも各所にソファを置き、人の気配を感じつつも一人で過ごせる空間を確保している。</p>                                  |                   | <p>思い思いに過ごせる空間づくりを今後も行っていく。</p>           |
| 83                      | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>                   | <p>入居時に本人の使いなれたものや、なじみのものを用意して居心地よく過ごせるよう配慮をしている。</p>  |                   | <p>居心地よく過ごせる工夫を今後も継続して行っていく。</p>          |
| 84                      | <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>                         | <p>適宜喚起を行い、臭いなどに配慮している。居室やフロアに室温・温度計を設置し個人の状況や希望に応じて室温を調節している。冬場には、加湿器を設置し、乾燥を防いでいる。</p>       |                   | <p>利用者の状況に応じ換気を行い、温度調節はこまめに行っていく。</p>     |

| 項目                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)  | 印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)       |
|-------------------------|--|--|-------------------------------------|
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |  |  |                                     |
| 85                      | <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>トイレや廊下の手すりには利用者にとって使いやすいように配置されており、安全に暮らせる工夫がされている。</p> | <p>利用者の身体機能に変化が生じた場合は再度検討をおこなう。</p> |
| 86                      | <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>           | <p>ご家族の協力のもと、馴染みのものを用意していただくようにしている。</p>                   | <p>今後も馴染みのものと生活できるよう工夫していく。</p>     |
| 87                      | <p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>                   | <p>畑や花壇などの手入れ、洗濯物干し、または玄関先で日向ぼっこなどをしている。</p>               | <p>今後も継続して行っていく。</p>                |

| サービスの実績に関する項目 |  |  |
|---------------|--|--|
| 項目            | 取り組みの成果  |  |
| 88            | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2/3くらい<br/>利用者の1/3くらい<br/>ほとんど掴んでいない</p> <p>生活暦などを活用して、本人の思いにそった暮らし方に努めている。</p>                        |
| 89            | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | <p>毎日ある<br/>数日に1回程度ある<br/>たまにある<br/>ほとんどない</p> <p>食事やお茶などを一緒にとり、会話を楽しみながらゆっくり過ごしている。</p>                                   |
| 90            | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2/3くらい<br/>利用者の1/3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>食堂や居間の共有スペースや居室などで一人ひとりの時間を大切にできるように心がけている。</p>               |
| 91            | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている                | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2/3くらい<br/>利用者の1/3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>生き生きと過ごせるよう支援し、楽しく日常生活がおくれるように心がけている。</p>                     |
| 92            | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2/3くらい<br/>利用者の1/3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>希望により個々で対応し、すぐに行ける場合は、その都度対応している。</p>                         |
| 93            | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2/3くらい<br/>利用者の1/3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>協力医療機関との連携にて訪問診療の他、いつでも相談出来る体制であるため、体調変化があるときには早期に対応している。</p> |
| 94            | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2/3くらい<br/>利用者の1/3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>利用者の要望や希望にそえるよう対応、見守りを行い、安心して暮らせていただいている。</p>                 |
| 95            | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <p>ほぼ全ての家族<br/>家族の2/3くらい<br/>家族の1/3くらい<br/>ほとんどできていない</p> <p>利用者の日常の状況をお伝えし、ご家族からも不安や気付いたことを話していただいている。</p>                |
| 96            | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | <p>ほぼ毎日のように<br/>数日に1回程度<br/>たまに<br/>ほとんどない</p> <p>家族や知人などの面会がほぼ毎日ある。</p>   |

| . サービスの成果に関する項目 |  |  |   |
|-----------------|--|--|---|
| 項目              |  | 取り組みの成果  |   |
| 97              | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 | 大いに増えている<br>少しずつ増えている<br>あまり増えていない<br>全くいない        | ボランティアの来所や、老人クラブへの参加などを通し、町内とのつながりも徐々に増えていっている。         |
| 98              | 職員は、生き生きと働けている   | ほぼ全ての職員が<br>職員の2/3くらいが<br>職員の1/3くらいが<br>ほとんどいない    | 働きやすい環境を心がけている。ストレスを発散出来る場を設けたりして、リフレッシュ出来るようにしている。     |
| 99              | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                            | ほぼ全ての利用者が<br>利用者の2/3くらいが<br>利用者の1/3くらいが<br>ほとんどいない | 利用者の意見や希望を取り入れ、満足して生活できるよう取り組んでいきたい。                    |
| 100             | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                        | ほぼ全ての家族等が<br>家族等の2/3くらいが<br>家族等の1/3くらいが<br>ほとんどいない | 現状に満足せず、家族とのつながりをより良くし、家族の思いを大切に、利用者への思いをくみ取り取り組んでいきたい。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)